

# 近隣センター移転計画対策委員会議事録

1. 日時 : 2017年7月8日(土) 19:00~20:15
2. 場所 : 東町会館1階集会室
3. 出席者 : 小川(委員長)・清水(副委員長)・勝久・太田・福岡正  
石丸・福岡鈴・常川・西田

オブザーバー

豊中市

内田、坪井(千里ニュータウン再生推進課)

中井(資産管理課)

欠席 : 伏原、原

## 1. 委員会体制(委員長、副委員長の選任)

互選により、委員長に小川浩一氏、副委員長に清水博文氏を選任しました。

## 2. にしおかコミュニティセンター、OPH新千里西町集会所見学の報告

冒頭、街角広場代表の太田氏より説明があり、続いて清水氏、福岡正輝氏、勝久恭子氏、小川浩一氏より実際に見学した感想が述べられました。

その中でもほとんどの部屋のドアが引き戸タイプであった事、各トイレが自動点灯、自動消灯であった点は参考になるとの意見があるとともに、OPH集会所のフルサッシタイプの窓による採光と外のオープンカフェとの繋がりは参考になるとの感想が述べられました。

## 3. 新地区会館レイアウト図の検討

再度修正した新地区会館の計画図(豊中市作成)を元に下記の点について協議しました。

- ① 会館北側の窓、オープンカフェの窓について、足元から高さ2mぐらいのフルサッシタイプとすると同時に全て引き戸タイプの窓とします。(オープンカフェ西側部分も含む)  
集会室に於いては、窓の内側に可動式のブラインドを付けるなどし、利用者のプライバシーにも配慮します。

- ② 玄関ドアも可能ならば引き戸タイプのドアとします。  
(車椅子利用者の人たちにも配慮)
- ③ 空調のランニングコスト削減効果を上げるため、オープンカフェと調理室の境界の廊下にも引き戸を付けます。(引き戸は集会室側に収納)
- ④ 全集会室の出入り口ドアは、全て引き戸タイプとします。  
(経費的に可能であれば倉庫の出入り口も全て引き戸タイプ)
- ⑤ 調理室、事務所、小集会室の西側には、全て裏口を設置します。

調理室に裏口は不要との意見もありましたが、玄関付近で火災が発生した場合に、通路奥・集会室奥側に非常口がないため。

- ⑥ 北側大集会室と南側の集会室の東西方向の間仕切りは、従来の吊り下げタイプのパーテーションではなく、引き戸タイプのパーテーション2枚とします。(パーテーション同士の間には、不要な机などを収納出来るだけのスペースを確保します=限られた空間の中での倉庫としての役割)
- ⑦ 南側小集会室(2部屋)を仕切るパーテーション(南北方向)の北側の支柱は、可能ならば必要に応じて取り外しの出来る仕様とします。  
⑥と⑦により、新春交歓会、地域説明会など、大広間として使用する目的にも対応させます。
- ⑧ オープンカフェと調理室の間は、シャッターで開閉する事によりカウンターキッチンとしても使用可能としていますが、両スペースの間の壁を一部撤去して通行可能な仕様にしてはどうかという意見もありました。しかしながら元々のコンセプトとマッチングしないので、当初通りの計画がいいのではないかという意見もありました。引き続き検討します。
- ⑨ 会館北側に庇(ひさし) 1.5~2mを予定しています。

#### 4. 今後の検討課題

- ・上履き仕様とするかどうか、今後引き続き検討を続けていきます。
- ・その他、細部についても今後委員会にて検討していきます。

次回委員会：日時未定(当面検討課題が無い事から、今後必要に応じて開催致します。)

以上